

## 3) 専門科目群

専門科目群は、共通専門科目、政治学系、法律学系、経済学系、経営学系、社会学系、情報学系、その他および公務員・社会教育主事・演習科目（表4）からなっている。

専門科目の履修条件については、表4の備考欄を参照のこと。

表4 専門科目群

科目 ナンバリング	授業科目の名称	単位		開講期		対象 学年	履修 制限	備考 ○印週1回授業 ◎印週2回授業	DP 1	DP 2	DP 3	DP 4
		必修	選択	春学期	秋学期							
<b>共通専門科目</b>												
POSC-P-100	政治学	4		◎	◎	1~				●		●
ECON-P-100	経済学	4		◎	◎	1~				●		●
CHRI-P-200	キリスト教社会倫理 A	2		○	○	3~					●	●
CHRI-P-200	キリスト教社会倫理 B	2		○	○	3~					●	●
INTD-P-100	社会への扉を開く		2	○		1~		オムニバス		●		
LAW-P-100	法学	4		◎	◎	1~				●		●
SOCL-P-100	社会学	4		◎		1~				●		●
MGMT-P-200	経営学	4		◎	◎	1~				●		●
INFO-P-100	情報学	4		◎		1~				●		●
POSC-P-200	平和学	4		◎		1~				●		●
SOCL-P-200	まちづくり学	4		◎		1~				●	●	●
<b>政治学系</b>												
POSC-P-200	政治過程論	4		◎		1~				●		●
POSC-P-200	公共政策論	4		◎		1~				●		●
PHIL-P-200	倫理学概論	2	○			1~		※		●		●
POSC-P-200	比較政治学	4		◎		1~		※		●		●
POSC-P-200	国際政治学	4		◎		1~				●		●
POSC-P-200	地域圏研究(アメリカ)	4		◎		1~				●		●
POSC-P-200	地域圏研究(ヨーロッパ)	4		◎		1~				●		●
POSC-P-200	地域圏研究(アジア)	4		◎		1~				●		●
POSC-P-200	地方自治論	4		◎	◎	2~				●	●	●
POSC-P-100	行政学	4		◎		1~				●		●
POSC-P-200	国際機構論	4		◎		1~		※		●		●
POSC-P-200	日本政治史	4		◎		1~				●		●
POSC-P-300	日本政治思想史	4		◎		1~				●		●
POSC-P-300	西洋政治思想史	4		◎		1~		※		●		●
POSC-P-200	環境政策論	4		◎		2~		※		●	●	●
POSC-P-400	埼玉地域政策研究	2		○		3~		大学院開設科目		●	●	●
POSC-P-200	政治哲学	4		◎		1~				●		●
<b>法律学系</b>												
LAW-P-300	民法A	2	○			1~				●		●
LAW-P-300	民法B	2		○		1~				●		●
LAW-P-300	商法概論	4		◎		2~				●	●	●
LAW-P-200	国際法	4		◎		1~				●		●
LAW-P-300	行政法	4		◎		1~				●		●
LAW-P-200	憲法	4		◎		1~				●		●
LAW-P-300	国際人権・人道法	4		◎		1~		※		●		●
LAW-P-300	比較憲法	4		◎		1~		※		●		●
LAW-P-300	経済法	4		◎		1~		※		●		●
LAW-P-300	労働法	2		○		1~				●		●
LAW-P-300	ジェンダー法	2		○		1~				●		●

備考欄※印：隔年開講

科目ナンバリング	授業科目の名称	単位		開講期		対象学年	授業形態 単独講義	備考 ○印週1回授業 ◎印週2回授業	DP 1	DP 2	DP 3	DP 4
		必修	選択	春学期	秋学期							
<b>経済学系</b>												
ECON-P-300	日本経済論		4		◎	1~		JSP科目		●		●
ECON-P-400	Japanese Economy Today		4	◎		1~				●		●
ECON-P-200	ミクロ経済学		4	◎		1~				●		●
ECON-P-200	マクロ経済学		4	◎		1~				●		●
ECON-P-300	経済思想史		4	◎		1~				●		●
ECON-P-200	金融論		4	◎		1~				●		●
ECON-P-200	財政学		4	◎	◎	1~				●		●
ECON-P-200	経済政策		4	◎		1~				●		●
ECON-P-300	低所得者に対する支援と生活保護制度		2		○	1~				●		●
ECON-P-200	社会保障論		4		◎	1~	※			●		●
ECON-P-200	地域経済論		4		◎	1~				●		●
ECON-P-200	労働経済論		4	◎		1~	※			●		●
ECON-P-300	国際経済論		4		◎	1~				●		●
ECON-P-300	経済史		4		◎	1~	※			●		●
ECON-P-300	中小企業論		4		◎	1~				●		●
ECON-P-200	地方財政		4		◎	1~			●		●	
<b>経営学系</b>												
MGMT-P-400	International Business		4	◎		1~	※	JSP科目		●		●
ACCT-P-300	会計学		4		◎	1~			●		●	
MGMT-P-300	ファイナンス		4		◎	1~	※		●		●	
MGMT-P-300	マーケティング論		4		◎	1~			●		●	
ACCT-P-200	簿記 I		4	◎		1~			●		●	
ACCT-P-300	簿記 II (商業)		2		○	1~			●		●	
ACCT-P-300	簿記 II (工業)		2	○		1~			●		●	
MGMT-P-200	異文化マネジメント		4		◎	1~	※		●	●	●	
MGMT-P-200	組織行動論		4	◎		1~			●	●	●	
MGMT-P-200	経営管理		4	◎		1~			●		●	
MGMT-P-200	経営倫理		2	○		1~			●		●	
MGMT-P-300	ベンチャー・ビジネス論		2	○		2~			●	●	●	
MGMT-P-300	経営史		4		◎	1~			●		●	
MGMT-P-400	国際ビジネスの現場A		2	○		2~			●	●	●	
MGMT-P-400	国際ビジネスの現場B		2		○	2~			●	●	●	
MGMT-P-300	コミュニティ・ビジネス論		2		○	2~	※		●		●	
INTD-P-200	秘書学概論		4	◎	◎	1~		人数制限50名		●		●
INTD-P-200	ビジネス実務		4	◎	◎	2~		人数制限40名	●	●		●
INTD-P-300	FP入門講座		2	○		1~			●	●		●
<b>社会学系</b>												
SOCL-P-100	環境学		4	◎		1~	※			●		●
SOCL-P-100	情報と社会		4		◎	1~			●		●	
SOCL-P-200	地域社会論		4		◎	1~			●		●	
ECON-P-200	社会政策論		4	◎		1~	※		●		●	
SOCL-P-300	社会心理学		2		○	2~			●	●	●	
SOCL-P-300	理論社会学		4	◎		1~			●		●	
SOCL-P-300	家族社会学		4		◎	2~			●	●	●	
SOCL-P-200	現代社会論		4		◎	1~			●		●	
SOCL-P-300	コミュニケーション学		4		◎	1~	※		●		●	
SOCL-P-300	NPO・NGO論		4		◎	1~			●		●	
SOCL-P-300	ボランティア概論		2		○	1~			●	●	●	
SOCL-P-200	ジェンダー論		4		◎	1~			●		●	
STAT-P-400	統計学入門		4		◎	2~	※		●	●		●

備考欄※印：隔年開講

科目 ナンバリング	授 業 科 目 の 名 称	単 位		開 講 期		対 象 学 年	履 修 単 位 数	備 考 ○印週1回授業 ◎印週2回授業	DP 1	DP 2	DP 3	DP 4		
		必 修	選 択	春 学 期	秋 学 期									
<b>情報学系</b>														
INFO-P-200	情報処理		4	◎		2～		※	●	●		●		
INFO-P-200	情報倫理		4		◎	1～				●		●		
INFO-P-200	デジタルメディア論		4		◎	2～			●	●		●		
INFO-P-200	法政情報論		4	◎		2～			●	●		●		
INFO-P-200	情報メディア史		2	○		2～			●	●		●		
INFO-P-300	情報システム論		4		◎	2～		※	●	●		●		
INFO-P-200	情報応用実践		2		○	1～		} 人数制限30名		●		●		
INFO-P-200	デジタルコミュニケーション		2	○		1～				●			●	
INFO-P-200	プレゼンテーション技法		2		○	1～					●		●	
INFO-P-300	情報通信ネットワーク論		4	◎		2～				●	●		●	
INFO-P-300	社会科学とプログラミング		4		◎	2～			●	●		●		
INFO-P-400	社会情報論		2	○		2～			●	●		●		
INFO-P-200	図書館情報技術論		2	○		2～		} 人数制限40名	●	●		●		
INFO-P-200	情報サービス論		2	○		2～				●	●		●	
INFO-P-200	情報サービス演習A		1	○	○	2～	演習			●	●		●	
INFO-P-200	情報サービス演習B		1	○	○	2～	演習			●	●		●	
<b>その他</b>														
TETR-P-200	自然地理学概説		2	○		1～						●	●	
TETR-P-200	人文地理学概説		2		○	1～						●	●	
TETR-P-200	西洋史概説A		2	○		1～						●	●	
TETR-P-200	西洋史概説B		2		○	1～						●	●	
TETR-P-200	西洋思想史		4	◎		1～						●	●	
TETR-P-200	地誌学概説A		2	○		1～						●	●	
TETR-P-200	地誌学概説B		2		○	1～						●	●	
TETR-P-200	哲学概説		2	○		1～						●	●	
TETR-P-200	東洋史概説A		2	○		1～						●	●	
TETR-P-200	東洋史概説B		2		○	1～						●	●	
TETR-P-200	日本史概説A		2	○		1～						●	●	
TETR-P-200	日本史概説B		2		○	1～						●	●	
INTD-P-300	インディペンデント・スタディA		4			2～			●			●		
INTD-P-300	インディペンデント・スタディB		2			2～			●			●		
INTD-P-300	インディペンデント・スタディC		1			2～			●			●		
INTD-P-300	インディペンデント・スタディD		1			2～			●			●		
INTD-P-400	政治経済学特講		2				演習	★		●		●		
INTD-P-400	政治経済学特講A		1	○		4～	演習			●		●		
INTD-P-400	政治経済学特講B		1		○	4～	演習			●		●		
INTD-P-400	政治経済学特論A		2				演習	★		●		●		
INTD-P-400	政治経済学特論B		4				演習	★		●		●		
<b>公務員</b>														
PUSR-P-100	公務員講座(文章理解)		4		◎	1～		} 人数制限40名	●			●	●	
PUSR-P-100	公務員講座(判断推理)		4	◎		1～				●			●	●
PUSR-P-100	公務員講座(数的推理・資料解釈)		4		◎	1～				●			●	●
PUSR-P-200	公務員講座(社会科学)		4	◎		1～				●			●	●
PUSR-P-200	公務員講座(人文科学)		4		◎	1～				●			●	●
PUSR-P-200	公務員講座(自然科学)		4	◎		1～				●			●	●
PUSR-P-300	公務員特講(自治体研究A)		2	○		2～				●			●	●
PUSR-P-300	公務員特講(自治体研究B)		2		○	2～				●			●	●
PUSR-P-300	公務員演習Ⅰ		1	○		2～	演習			●			●	●
PUSR-P-300	公務員演習Ⅱ		1		○	2～	演習			●			●	●
PUSR-P-400	公務員講座(専門A)		4	◎		2～		} オムニバス	●			●	●	
PUSR-P-400	公務員講座(専門B)		4		◎	2～				●			●	●

備考欄★印：別表「開講科目一覧」参照

備考欄※印：隔年開講

科目 ナンバリング	授 業 科 目 の 名 称	単 位		開 講 期		対 象 学 年	履 修 要 求	備 考 ○印週1回授業 ◎印週2回授業	DP 1	DP 2	DP 3	DP 4
		必修	選択	春学期	秋学期							
<b>社会教育主事</b>												
ADED-P-200	生涯学習概論A		2	○		2~			●		●	●
ADED-P-200	生涯学習概論B		2		○	2~			●		●	●
ADED-P-200	生涯学習支援論A		2	○		2~			●		●	●
ADED-P-200	生涯学習支援論B		2		○	2~			●		●	●
ADED-P-200	社会教育経営論A		2	○		2~			●		●	●
ADED-P-200	社会教育経営論B		2		○	2~			●		●	●
ADED-P-200	社会教育実習		2	○		3~	実習		●		●	●
ADED-P-200	社会教育課題研究A		2	○		2~			●		●	●
ADED-P-200	社会教育課題研究B		2		○	2~			●		●	●
ADED-P-200	現代社会と社会教育A		2	○		2~			●		●	●
ADED-P-200	現代社会と社会教育B		2		○	2~			●		●	●
ADED-P-200	地域社会教育論A		2	○		2~			●		●	●
ADED-P-200	地域社会教育論B		2		○	2~			●		●	●
<b>演習科目</b>												
INTD-P-100	予備演習A	1		○		1	演習				●	●
INTD-P-100	予備演習B	1			○	1	演習				●	●
INTD-P-200	専門演習A	1		○		2	演習	同一担当者のA・Bを 付したクラス必修	●		●	
INTD-P-200	専門演習B	1			○	2	演習		●		●	
INTD-P-300	卒業研究Ⅰ	1		○		3	演習	同一担当者のⅠ・Ⅱを 付したクラス必修	●		●	
INTD-P-300	卒業研究Ⅱ	1			○	3	演習		●		●	
INTD-P-400	卒業論文		6			4			●		●	

**【別表】 専門科目群〔政治経済学特論・政治経済学特講〕 開講科目一覧**

〔政治経済学特論〕は、全学年を対象とし、将来大学院進学・留学等を考えている学生、関心のある学問領域をより深く研究したいという学生等向けに、少人数・演習形式で行われる。

〔政治経済学特講〕は、3年次以上を対象とし、外国語文献の読解力を伸ばしたいという学生、関心のある学問領域をより深く研究したいという学生等向けに、学科の専任教員により少人数・演習形式で行われる。

いずれも定員制のため各担当教員の判断によって受講者の選抜が行われる。選抜方法・基準等については、各担当教員に直接問い合わせるか、シラバス・掲示板等を参照すること。

<b>別表 専門科目群〔政治経済学特論・政治経済学特講〕</b>												
科目 ナンバリング	授 業 科 目 の 名 称	単 位		開 講 期		対 象 学 年	履 修 要 求	備 考 ○印週1回授業 ◎印週2回授業	DP 1	DP 2	DP 3	DP 4
		必修	選択	春学期	秋学期							
<b>その他</b>												
LAW-P-400	政治経済学特論A(20世紀の法文化)		2		○	2~	演習	人数制限15名			●	●
LAW-P-400	政治経済学特論A(日本の裁判を考える)		2	○		2~	演習				●	●
MGMT-P-400	政治経済学特論A(企業経営を考える)		2		○	1~	演習				●	●
SOCL-P-400	政治経済学特論A(理論社会学)		2		○	1~	演習				●	●
SOCL-P-100	政治経済学特論A(日本の社会を教える)		2		○	1~	演習	日本語基礎前期課程入学生用			●	●
POSC-P-400	政治経済学特講(西洋政治思想講読A)		2	○		3~	演習	人数制限15名			●	●
POSC-P-400	政治経済学特講(西洋政治思想講読B)		2		○	3~	演習				●	●
LAW-P-400	政治経済学特講(法学)		2	○		3~	演習				●	●

## 1. 演習科目について

演習科目は、予備演習A・B、専門演習A・B、卒業研究Ⅰ・Ⅱからなる。専門演習A・Bおよび卒業研究Ⅰ・Ⅱは共に選択必修科目である。予備演習A・Bは必修科目である。

- ① 専門演習Aは必ず事前登録を行わなければならない。履修するための事前登録の日時や選考方法については、履修すべき学期の前に掲示される。
- ② 卒業研究Ⅰ・Ⅱを履修するには、原則として、同一担当者の専門演習A・Bの単位を修得していなければならない。

## 2. 卒業論文について

卒業論文は、卒業研究の単位を修得した者が、指導教員の個別指導を受け、一定水準以上の論文を提出した場合6単位与えられる制度である。

- ① 卒業論文を執筆するには、以下の単位を修得しなければならない。  
専門演習A・B、卒業研究Ⅰ・Ⅱ
- ② 卒業論文の執筆を希望する学生は、指定期間に所定用紙にて教育支援課に願い出ること。卒業論文登録の機会は、4年次春学期、4年次秋学期の合計2回ある。いずれかの機会に必ず登録をすること。指定期間に卒業論文の登録をしないと単位は認定されないので注意すること。
- ③ 卒業論文は、所定の期間（卒業年度各学期の13週目）に教育支援課窓口へ提出しなければならない。（ただし、提出締切日が休日の場合はその翌日、土曜日の場合は翌週月曜日までとする。）

## 3. 卒業見込証明書の交付について

卒業見込証明書の発行を請求するには、3年次終了時点において在学期間（注1）が6セメスター以上（2年次編入生は4セメスター以上、3年次編入生は2セメスター以上）で、総修得単位数76単位以上でなければならない。

（注1）休学期間は在学期間に含まない。